

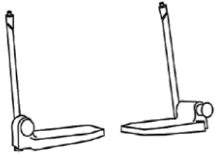
車椅子 これだけは実施して欲しい点検項目一覧

初めに

車椅子をより安全・安心に使用する為には、様々な点検が必要となります。中でも「これだけは実施して欲しい」という点検項目を下記にまとめたので、ご覧いただき、現場での点検に役立ててください。

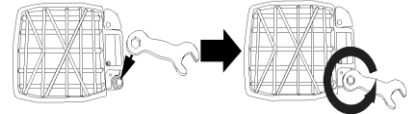
① フットサポート（足置き部分）の点検

⇒前方転倒の予防



点検項目…フットサポート（足置き部分）が抜け落ちそうにならないですか？

抜け落ちそうになる場合は…右図のようにパイプの下にあるボルトを工具で回して固定して下さい（工具は基本的に車椅子に付属しています）。



※機構の違うものがある為、パイプの下にボルトがないものは上記とは異なる点検をする必要があります。

② キャスタの点検

⇒重たい車椅子からの脱却



点検項目…キャスト車輪の中にゴミは絡まっていませんか？

ゴミが絡まっている場合は…ピンセット等を使用して、ゴミを取り除いて下さい。ピンセット等では取りきれない場合は専門家に相談して下さい。

③ 駆動輪（後輪）の確認

⇒重たい車椅子からの脱却



点検項目…タイヤに空気は入っていますか？タイヤを指で押して下さい。

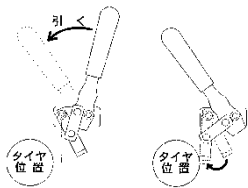
空気が減っているかが分からない時は、人が乗った状態で地面との接地面を確認し、タイヤがひしゃげていると空気が足りません。

空気が少ない場合は…空気入れを使用し、タイヤ側面数値で補充して下さい。

※空気入れは高圧タイヤ対応の目盛り付き空気入れの使用を推奨します。

④ 駐車用ブレーキ（パーキングブレーキ）の確認

⇒転落事故の予防



点検項目…ブレーキは効いていますか？

駆動輪（後輪）に空気が十分に入っている事を確認してからブレーキを掛け、車椅子に座りアームサポート（肘置き）を持って下さい。

足を前に出して後ろに体重を掛けながら、立ち上がり動作をして下さい。

車椅子が少しでも後ろに逃げるようだとブレーキの効きに不備があります。

ブレーキが効かない場合は…専門家にブレーキの調整をしてもらって下さい。

⑤ 制動用ブレーキ（介助ブレーキ）の確認

⇒斜面での安全確保



点検項目…ブレーキは効いていますか？

ブレーキを握り、人が乗っていることを想定し、自分の体重を進行方向斜め下に掛けながら車椅子を押して下さい。

タイヤが回ってしまう場合、ブレーキの効きに不備があります。

ブレーキが効かない場合は…専門家にブレーキの調整をしてもらって下さい。

安全・安心な車椅子利用のため、是非とも実施して下さい。